

3. 2. 29		21.0	NNW	1	(2 nd)			ナ	シ	漁場
----------	--	------	-----	---	--------------------	--	--	---	---	----

鯉餌料焚入漁業試験

一、趣 旨

從來本縣ニ於テハ鰻、赤鯉、方言うふみ等ヲ鯉餌料ニ使用シツツアルモ其ノ漁法ハ未ダ舊慣ヲ脱スル域ニ至ラズ故ニ本場ハ本試験テ行ヒ餌料魚ノ分布状態ヲ詳カニシ進ンデハ漁具漁法ノ改良ヲ計リ餌料供給ノ圓滑ヲ計ル一助タラシメントス。

二、施行 方 法

(1) 試験場所並ニ期間

國頭郡運天港内外

自昭和二年五月二十一日間
至同 月二十二日

國頭郡名護町沖及許田浦内外

自昭和二年五月二十三日間
至同 月二十四日

島尻郡馬天港口

自昭和二年五月三十一日間
至同 六月二日

(2) 使用船及器具

和船(幅六尺長三十尺) 一隻

大坪式石油集魚燈 五百燭光二箇

表層プランクトンネット 大籠等ナリ

要スルニ初年度ハ豫備的手段ニ出デ和船中央ニ集魚燈及石油タンクヲ裝置シ、左舷外約二尺水面上二尺ノ所ニ火口一箇ヲ裝置シ各地ニ於テ舟ヲ錨留シ日没ヲ待チテ集魚燈ニ點火シ集魚ノ裝置ト共ニ海水觀測ヲナシ蠟集セル仔魚ヲ採集シ或ハ錨ヲ揚ゲ船ヲ移動セシメテ魚群ノ誘導ヲ試ム。

三、結 果

本調査ハ焚入漁業試験ノ豫備行爲ニ止メ漁具ハ大摺ヲ使用シタルノミナルモ其ノ結果ヨリ推スニ各地共淺海ニ於テハ稚魚火付良好ニシテ二十尋以上ノ深所ニハ比較的少ク、一般ニ魚附良キハ水深十五尋乃至九尋位ノ區域ナリ、但シ採集魚ハ從來當業者ガ餌料トシテ使用スル籠圍ヲ脱セズ、其ノ多クハ稚魚ニシテ餌料トナルノ大サニ達セザルモ南下シ日ヲ經ルニ從ヒ魚體大トナルヨリ觀ルモ時期尙早ナリシガ如シ火付ノ狀態漁獲方法等ニ就テハ他日調査試験ヲ行ハントス。

焚 入 漁 業 試 験 日 誌

場 所	期 日	時 間	表 水 面 温	表 水 面 比	水 深 (呎)	備 考
通 天 港	年 月 日 2. 5. 21	PM 8h00m—8h30m	23.8	23.732	12.0	
同	" " "	PM 9h00m—9h30m	24.3	23.676	14.0	
同	" " "	PM 10h00m—11h00m	24.0	24.486	17.0	通天港内ニ於テ漁付痕モ多ク方當するルノ付粒ニボらんくといふ多シ
同	" " "	PM 11h30m—12h00m		24.176	12.0	
同	" " "	AM 12h10m—12h40m	23.8	24.176	15.0	
名 護 灣	" " 23	PM 8h00m—9h00m	23.5	25.155	17.0	表内ニ魚付ナキモ底部ニ相當等ナル如シ而モ明麗シ難シボらんくといふ少シ

同	2. 5. 24	PM 8h00m—9h30m	23.0	25.794	9.5	そおいや多しいかの群相當アリ 底部ニ集魚セルモ魚種別明チラズ ぶらんくといふ非常ニ多シ七群ノ所迄誘導サル深 味ニハ少シ (方言ぐるくん) (方言うふみ) (方言しるぐわ) 多シ
同	" "	PM 10h00m—11h00m	23.4	25.478	16.0	
同	" "	PM 11h00m—11h30m			7.5	
古宇利島	" "	PM 8h00m—9h30m	23.0	25.145	15.0	
同	" "	PM 10h00m—11h00m	23.0	25.028	20.0	
同	" "	PM 11h00m—12h30m	23.0		13.0	
馬天港	" "	PM 8h00m—9h30m	24.2	25.44	8.0	
同	" "	PM 8h00m—9h00m		24.604	5.5	
同	" "	PM 9h30m—10h30m		24.924	3.5	
同	" "	PM 8h00m—9h30m	24.8	25.55	8.5	
同	" "	PM 10h00m—10h30m	25.4		8.0	
同	" "	PM 11h00m—12h00m	31.4 20.32		9.0	

尙ホ當時蝦集セル仔魚ヲ探集セシニ下記魚類也。

- (1) *Amblygaster immutatum* (Kishinouye) はしなしいわし、(2) *Athenina bleekeri guntner* とおどろいわし、(3) *Cyprurus aegoo* (Tenninck Schlegel) とびうを、(4) *Eyporlanphus sajori* (Tenninck & Schlegel) さより、(5) *Sardinella mizun* (Kishinouye) みずん、(6) *Pseudupeneus*, sp. ひめじノ一種。

附 三

尙ホ本縣産鯉餌料魚ニ就テハ目下調査中ナル方經漁業者ハ左記魚類ヲ主トシテ使用ス。

- (1) *Stolephorus japonicus* 和名鰺方言するゝ又ハばかざゝ
 (2) *Caesio digramma* 方言ぐるくん
 (3) *Caesio chrysogora* 和名たかさこ方言ぐるくん
 (4) *Caesio coeruleaurens* 方言されえーらー
 (5) *Amia notata* 和名黒星天竺鯛方言うふみー
 (6) *Amia truncata* 方言うふみー
 (7) *Beryx decadactylus* 和名なんようきんめだひ方言がさがさー
 (8) *Pomacentrus anabatois* 方言ひかぐわー、又ハひちぐわー
 (9) *Sardinia immaculata* 和名ほしなしいわし方言しいらー
 (10) *Lutjanus uaiensis* 和名をきふゑふき方言もちのぐわー
 (11) *Atherina tsunugae* 和名ぎんいそいわし方言あをはらら
 (12) *Caranx djeddaba* 方言がつん
 (13) *Seomber japonicus* 和名鯖方言大鯖ノ仔

等ナルガ又年ニヨリテハコノ大鯖ノ仔ノ七、八月ノ交大群ヲナシテ八重山郡及宮古郡地方ニ來游スルコトアリ、此ノ場合ニハ同地方ニアリテハ之テ使用シ鰹餌料ニ不足スルコトナシト言フ。

從來魚類ノ査定ハ殆ト東京帝國大學助教田中茂穂氏ニ依頼セシ所ナルガ、焚入漁業試験ノ際採集セル稚魚及縣内各地ヨリ蒐集セル鰹餌料魚ニ關シテハ同氏モ多少ノ疑問ヲ有スルガ如シ、豫報シテ他日ノ調査研究ニ資セント欲ス。